



正規化トリガーの設定

- [「正規化前トリガーのリストの参照」](#)
- [「正規化後トリガーのリストの参照」](#)
- [「正規化前トリガーの追加と編集」](#)
- [「正規化後トリガーの追加と編集」](#)

正規化前トリガーのリストの参照

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Triggers] > [Pre-Normalization] を選択します。
[Pre-Normalization] ページが表示され、すべての正規化前トリガーが表示されます。
- ステップ 2** 正規化前トリガーを削除するには、次の操作を実行します。
- a. 削除する正規化前トリガーの名前の横にあるボックスをオンにします。
 - b. [Remove] をクリックします。
 - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

関連項目

- [「システム設定の管理」](#)
- [「正規化トリガーの設定」](#) の目次ページに戻る

正規化後トリガーのリストの参照

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Triggers] > [Post-Normalization] を選択します。
[Post-Normalization] ページが表示され、すべての正規化後トリガーが表示されます。

- ステップ 2** 正規化後トリガーを削除するには、次の操作を実行します。
- 削除する正規化後トリガーの名前の横にあるボックスをオンにします。
 - [Remove] をクリックします。
 - [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

正規化トリガーについて

正規化トリガーは、トリガー条件を正規化ポリシーと相互に関連付けます。正規化トリガーには、次の2つのタイプがあります。

- ルーティング前に発生する、正規化前トリガー
- ルーティング後に発生する、正規化後トリガー

特殊なポリシーでは、mid-dialog メッセージでの正規化がバイパスされます。

[Pre-Normalization Triggers] ページおよび [Post-Normalization Triggers] ページから、正規化トリガーを追加、更新、または削除できます。

関連項目

- 「[システム設定の管理](#)」
- 「[正規化トリガーの設定](#)」の目次ページに戻る

正規化前トリガーの追加と編集

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Normalization Triggers] > [Pre-Normalization] を選択します。
[Pre-Normalization Triggers] ページが表示されます。
- ステップ 2** 正規化前トリガーを追加するには、次の操作を実行します。
- [Add] をクリックします。[Pre-Normalization Trigger: New] ページが表示されます。
 - ドロップダウンメニューから、正規化ポリシーを選択します。
 - ドロップダウンメニューから、トリガー条件を選択します。
 - [Add] をクリックします。
- [Pre-Normalization Triggers] ページが表示され、すべてのトリガーが表示されます。
- ステップ 3** 正規化前トリガーのルールを追加、編集、または削除するには、「[トリガーのルールの参照、追加、移動、および削除](#)」の手順に従います。
- ステップ 4** 正規化前トリガーを編集するには、次の操作を実行します。
- 編集する正規化前トリガーの名前の横にあるチェックボックスをオンにします。
 - [Edit] をクリックします。[Pre-Normalization Trigger] ページが表示されます。
 - ドロップダウンメニューから、正規化ポリシーを選択します。
 - ドロップダウンメニューから、トリガー条件を選択します。
 - [Update] をクリックします。[Pre-Normalization Triggers] ページが表示され、すべてのトリガーが表示されます。

ステップ 5 複数の正規化前トリガーがある場合、次の操作を行うことによって、命令を再実行できます。



ヒント 1つの正規化前トリガーが一致すると、その他のすべてのトリガーが無視されます。システムを最適化するには、リストの最も上で一致するように、正規化前トリガーを設定することを推奨します。

- 正規化前トリガーを選択します。
- 上矢印または下矢印をクリックします。
- [Update] をクリックします。

ステップ 6 [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「正規化トリガーの設定」の目次ページに戻る

正規化後トリガーの追加と編集

手順

ステップ 1 [Configure] > [Normalization Triggers] > [Post-Normalization] を選択します。

[Post-Normalization Triggers] ページが表示されます。

ステップ 2 正規化後トリガーを追加するには、次の操作を実行します。

- [Add] をクリックします。[Post-Normalization Trigger: New] ページが表示されます。
- ドロップダウンメニューから、正規化ポリシーを選択します。
- ドロップダウンメニューから、トリガー条件を選択します。
- [Add] をクリックします。

[Post-Normalization Triggers] ページが表示され、すべてのトリガーが表示されます。

ステップ 3 正規化後トリガーのルールを追加、編集、または削除するには、「トリガーのルールの参照、追加、移動、および削除」の手順に従います。

ステップ 4 正規化後トリガーを編集するには、次の操作を実行します。

- 編集する正規化後トリガーの名前の横にあるチェックボックスをオンにします。
- [Edit] をクリックします。[Post-Normalization Trigger] ページが表示されます。
- ドロップダウンメニューから、正規化ポリシーを選択します。
- ドロップダウンメニューから、トリガー条件を選択します。
- [Update] をクリックします。[Post-Normalization Triggers] ページが表示され、すべてのトリガーが表示されます。

ステップ 5 複数の正規化後トリガーがある場合、次の操作を行うことによって、命令を再実行できます。



ヒント 1つの正規化後トリガーが一致すると、その他のすべてのトリガーが無視されます。システムを最適化するには、リストの最も上で一致するように、正規化後トリガーを設定することを推奨します。

- a. 正規化後トリガーを選択します。
- b. 上矢印または下矢印をクリックします。
- c. [Update] をクリックします。

ステップ 6 [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- [「システム設定の管理」](#)
- [「正規化トリガーの設定」](#) の目次ページに戻る